



(参考仮訳)

プレスリリース No. 10/350
即時解禁
2010年9月23日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

IMF 地域諮問グループ、2010 年年次総会で初の合同会議を開催

国際通貨基金 (IMF) の地域諮問グループは、10月10日、IMF・世界銀行年次総会において初の合同会議を開催し、IMF のドミニク・ストロスカーン専務理事並びにシニア・マネジメントと、各地域特有の或いは全地域共通の問題について、協議を行うことになった。アフリカ、アジア太平洋、欧州、中東中央アジア、及び西半球の各地域グループは、加盟国との関係の強化に向けた IMF のより広範な取り組みの一環として、昨年設立された。

ドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事は「IMF がより実効的になるためには、各地域及び各国の地政学的或いは社会経済的問題や懸念に対する、我々の理解を深める必要がある。これはこれまでの経験から明らかだ」と述べた。「これら地域諮問グループは、各々の地域の第一人者の経済的課題や見通しに関する声を伝える、重要なチャンネルである。年次総会での、これらグループとの実りある協議を期待している」

各々の専門知識により選出された、官民、学界、及び市民社会の著名な専門家が構成する IMF の [地域諮問グループ](#) は、独立した助言機能を有し、各地域における IMF の活動に多様な視点を提供する。各グループによる助言は、現地での IMF の活動並びに各国との政策協議を行う上での、有用な情報となることが期待される。

同会議は、これまで1年間に渡り協議を行ってきた各グループによる初の合同会議となる。